

水と辿る多賀

【みずとたどるたが】

あけぼのパーク多賀 開館20周年記念 特別展

わたしたちの生活に欠かせない水を通して
多賀のむかしといまとこれからを考える



会期：平成30年7月21日(土)～8月26日(日)

特別展観覧料：無料

開館時間：午前10時～午後5時 ※平日は午後6時まで開館

特別展開催中の休館日：月曜日

関連イベント

- ・自由研究応援講座「水をしらべる」

7月22日(日)午前10時～、午後2時～ ※小学生対象 各回定員10名(事前申込制) 参加費200円

- ・ギャラリートーク(展示の見どころを解説します)

7月28日(土)午前11時、午後1時、午後3時 ※一般対象 申込不要 参加費無料

TAGA TOWN MUSEUM



多賀町立博物館

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2
TEL: 0749-48-2077 FAX: 0749-48-8055
E-mail: museum@town.taga.lg.jp
http://www.town.taga.lg.jp/akebono/museum/

常設展示室観覧料

16才以上200円(中学生以下もしくは多賀町に在住・在勤の方は無料)

団体(有料の方が20名以上): 1人150円

障がいのある方: 1人100円(付き添い1人まで100円)

多賀町は東部に鈴鹿山系の山々が連なり、山奥に源を発する芹川、犬上川が流れる自然豊かなまちです。わたしたちの身のまわりにある水に焦点をあて、多賀町の自然環境と水と人との関わりを見つめなおしてみませんか？

水と地形

川は大地の彫刻家です。山地に降った雨や雪解け水は川となり岩削って深い谷を造り、時には地下に潜って洞窟をも造り上げます。ここでは、川が造形した地形と、その地形にひそむ地層や岩石のようすを紹介します。

水と人の歴史

人は水を利用して生活し、様々なものを生産してきました。人は作物を生産するため水を利用して土地開発を進め、開発したのは作物の豊作を願って祈り、あるときは生きるために水をめぐって争いがおきました。

水と人のくらし

水はくらしに欠かせないものです。けれども、どこの場所にもふんだんに水があるわけではありません。人々は水を確保するために工夫を重ね、また節水の工夫を重ねてきました。水の貴重さは水道のある現在も変わりません。

くらしの中心地

近年、多賀のくらしは変化しました。山間部から平野部へとくらしの中心が移動したのは水との関わりの影響もあったようです。本章では多賀のくらしがどのように移り変わってきたのか人口の中心地（人口重心）を求めることによってご紹介します。

あけぼのパーク多賀 開館 20 周年記念 特別展

水と辿る多賀

TAGA TOWN MUSEUM
多賀町立博物館

〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2
TEL : 0749-48-2077 FAX : 0749-48-8055
E-mail : museum@town.taga.lg.jp
<http://www.town.taga.lg.jp/akebono/museum/>



霊仙山のお虎が池



芹川



犬上川



堀の遺構（檜崎）

